

11 市制施行60周年記念事業  
19.20 第33回宜野湾市産業まつり開催



宜野湾海浜公園において「第33回宜野湾市産業まつり」が開催されました。市県産品の農水産物や花木、商工業製品の展示販売や、木工体験、豪華賞品が当たるガラポン抽選会などが催され、多くの来場客で賑わいました。ステージイベントでは、ぎのわん応援大使を務めるハローキティとの写真撮影会や、地域サークルによる出し物、アーティストによる圧巻のライブなどで盛り上がりしました。

11 盤上の格闘技、静かなる熱戦  
19.20 将棋フェスティバル in 宜野湾開催



「将棋フェスティバル in 宜野湾」が、市立体育館において11/19(土)、20(日)の日程で開催され、県内外からの出場者の皆さんが熱戦を繰り広げました。会場には両日を通してプロ棋士が来場し、多面指しによる指導対局や有段者の部で優勝した具志堅桐弥さんと室田伊緒女流2段による公開対局と大盤解説など、多彩な催し物で会場を盛り上げたほか、駒師による木彫りの駒の実演なども行われました。

10 31 とりっく おあ とりーと!!  
保育園にてハロウィンイベント開催



市内保育園のちやいどはうすエンジェルにてハロウィンイベントが行われました。当日は、近隣でのパレードやダンスのお披露目も予定していましたが、天候不良により園内での開催となりました。山川美奈子園長は「今年のハロウィン、雨で園外の企画は中止となりましたが、楽しく過ごすことができました。来年は地域の皆さんにも、ぜひ元氣と笑顔を届けに行きます」と話しました。

11 10 安心安全な水を届けるために  
上下水道事業管理者辞令交付式



市役所において上下水道事業管理者の辞令交付式が行われ、島袋清松氏が再任されました。島袋上下水道事業管理者は、平成4年に入庁。教育委員会教育部長を経て平成30年3月に定年退職後、同年11月に上下水道事業管理者に就任されました。島袋上下水道事業管理者は「これからも安定した上下水道事業の運営を心掛け、市民のみなさまの生活を支えていきたいと思ひます」と挨拶しました。

11 21 より豊かな地域社会づくりを目指して  
明治安田生命保険相互会社から寄附金贈呈



明治安田生命保険相互会社の関係者が市役所を訪れ、「私の地元応援募金」による寄附金を贈呈しました。これは、より豊かな地域社会づくりに貢献することをめざし展開する「地域の元氣プロジェクト」の一環として行われているもので、川腰藤雄支社長は「本社従業員の地元を思う気持ちの表れでもある当募金を、ぜひ市民のみなさまの健康的な生活に役立ててほしいです」と思いを語りました。

11 22 情報産業振興に向けて  
ちゅらデータ株式会社と対談



松川市長は、市情報通信産業支援施設に入居するITベンチャー企業のちゅらデータ株式会社の真嘉比愛代表取締役社長と市役所で対談しました。対談で真嘉比代表取締役社長は「ITで街を盛り上げていくために、民間が担う部分もあるが、市には特徴的な取り組みを打ち出し、情報発信していくことをお願いしたい。民間と行政が協力して環境づくりを行い、街を盛り上げていきましょう」と語りました。

11 10 若き力が社会に訴える  
少年の主張大会 県大会結果報告



前田航汰さん(真志喜中3年)と青少年健全育成協会および学校関係者が市役所を訪れ、「令和4年度少年の主張大会沖縄県大会」において審査員特別賞を受賞したことを報告しました。報告の中で、東京オリンピック・パラリンピックから受けた感銘や、自身が持つ身体的ハンデキャップと周囲の方々との関わり合い、これから自分が進む道への挑戦など、前田さんの等身大の思いを堂々と披露しました。

11 12,13 文化の継承と創造および発展  
第42回宜野湾市文化祭開催



文化の継承と創造及び発展に寄与し、市民の文化振興を目的とした「第42回宜野湾市文化祭」(主催:文化協会、教育委員会)が市民会館および中央公民館で開催されました。市文化協会の城間盛久会長は「この度は文化祭が開催できたことを嬉しく思います。市民のみなさまには、ぜひこの機会に芸術に触れ親しんで、文化芸術の素晴らしさを感じていただきたいです」と語りました。

11 30 「仮面の言葉」じゃなく「自分の言葉」で  
きつおん講演会2022



市社会福祉センターにて「きつおん講演会2022」が開催され、市在住の吃音を抱える子をもつ保護者や、吃音に関心および関わりのある方が参加しました。講師を務めた平良和さんは「ありのままの自分の言葉で話し、表現し、伝えることができる、子供の心を育てることが大事。そのためには、吃音を受け入れる周りの環境づくりと、吃音に対する理解を深めることが重要です」と語りました。

12 2 今までの感謝とこれからの思いを託して  
感謝状贈呈式および委嘱状伝達式



宜野湾市退任民生委員・児童委員感謝状贈呈、新任民生委員・児童委員委嘱状伝達が、宜野湾市社会福祉センターにおいて執り行われました。今回の一斉改選で22名の委員が退任され、社会福祉の向上に貢献した功績を称え、感謝状が贈られました。また、新たに14名の委員に厚生労働大臣と沖縄県知事から委嘱状が伝達されました。現在の市内民生委員は、111名となっております。

11 16 皆様が笑顔で年を越せるよう、必要とする方々へ  
ろうきん普天間地区推進委員会食料贈呈式



市社会福祉協議会にて、ろうきん普天間地区推進委員会による食糧贈呈式が行われました。寄付・寄贈された食糧を、支援を必要とする住民および地域社会に届けることで、社会福祉活動に貢献するとともに共生社会の実現に寄与することを目的としております。邊土名朝啓支店長は「みなさまが明るい年末年始を送れるよう、支援が行き届いてもらえればと思います」と挨拶しました。

11 16 沖縄県の発展に寄与、福祉の増進、模範となる  
沖縄県功労賞受賞を報告



市内在住の重田照吉(テリー重田)さんが松川市長を訪ね、令和4年度沖縄県功労者表彰の受賞を報告しました。これまでも、チャリティーコンサート等音楽活動を通して被災地への支援も行っており、平成26年には宜野湾市政功労者、平成27年には沖縄県文化功労者に表彰されています。重田さんは「これからも健康に留意しながら沖縄のジャズのためにやっていきたいと思ひます」と挨拶しました。